

CSF（豚熱）県内 2 例目の発生に際し、更なる支援の充実と 原因究明等についての緊急要望

昨年の CSF（豚熱）発生以来、本県では、知事を中心として、CSF への防疫体制について、防疫対策や家畜防疫員の拡大など積極的に進めてこられたことは大いに評価するところで
す。

また、県内 2 例目の CSF 発生に対する県当局の人的・物的両面からのご尽力並びに殺
処分早期完了など迅速な対応に感謝申し上げます。

しかし、防疫対策を取っている養豚場から網の目を掻い潜り、CSF が発生してしまったこと
について、県内の畜産農家・市町村では、大変な危機感を抱いております。

そこで、CSF 発生の原因究明を進めるとともに、現在行われている防疫対策等の徹底を改
めて要望いたします。

1 防疫対策

- ・ 適切な時期のワクチン接種の再確認と、家畜防疫員及び獣医師などの体制の充実並
びに生産者負担の更なる軽減など
- ・ 野生イノシシの捕獲や防護柵の設置及び経口ワクチン散布の対応及び再確認
- ・ カラス等からのウイルス侵入を防ぐための防鳥ネット整備の対応及び再確認
- ・ 養豚農家に入出入りする関連事業者を含め、さらに考えられるあらゆる感染経路の遮断
を再度行うよう要望します。

2 風評被害対策

- ・ 原因究明とその内容を分かりやすく県民への公表
- ・ 感染してしまった養豚農家及び県内生産豚を対象とした風評被害が広がらないよう
県が主体となって広報等により慎重な対応方よろしく願いいたします。

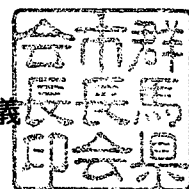
3 被害養豚農家への支援

- ・ 防疫対策を取っていながらも、CSF 感染が広がった養豚農家への経済的支援

令和3年4月9日

群馬県知事 山本 一太 様

群馬県市長会長 清水 聖義



群馬県町村会長 茂原 荘一

